

5	火災時の措置
	消火手段 : 周辺の火災に対し、適切な薬剤を使用する。 火災時の特別対応手段 : 保護衣と呼吸用保護具を着用する。火災や過度の熱により、危険な分解物質を生じることがある。 有害燃焼物質 : なし 異常火災／爆発の危険性 : なし
6	漏出時の措置
	多量の水で洗い流すか、不活性物質に吸収させ化学物質廃棄用の容器に回収する。漏洩箇所を十分に拭きとる。
7	取扱い及び保管上の注意
	取扱い : 適度な換気をする。取扱い後は、十分に手などを洗う。 火災や爆発の防止 : 通常使用では、特に必要なし。 保管 : 密栓して保管する。不適合物質から離して保管する(不適合物質情報参照)。
8	暴露防止措置
	許容濃度 : 確立されていない。 換気 : 換気の良い場所で取扱う(10 air changes/時間)。換気率は使用条件に適合しなければならない。 呼吸器系の保護 : 必要なし 眼の保護 : 側板付き眼鏡またはゴーグル型保護眼鏡の着用。 皮膚の保護 : 長時間、あるいは繰り返し皮膚に付着するような操作では、不浸透性の手袋を着用すること。 浄化する設備 : 洗眼、身体洗浄の設備(シャワー)を推奨する。
9	物理・化学特性
	外観 : 液体 色 : 無色 臭気 : 無臭 沸点 : >100℃ 蒸気圧 : 24mbar(18mmHg) / 20℃ 蒸気密度(空気 = 1) : 0.6 揮発留分(重量) : 95-90% 比重(水 = 1) : >1 pH : 6.3 水溶性 : 完全 引火点 : なし(不燃性液体)
10	危険性情報(安定性・反応性)
	安定性 : 安定 不適合物質 : 強酸、強塩基 危険分解物質 : ホルムアルデヒド、硫黄酸化物 危険重合物質 : なし

11 | 有害性情報(暴露の影響)

吸入 : 通常取扱いでは、危険性は少ないと予想される。
 眼 : 知見なし。一過性の炎症を起こすことがある。
 皮膚 : 本剤は皮膚にアレルギー反応を起こす可能性は低いが、皮膚感作性の症例がある。
 誤飲 : 飲み込むと有害

12 | 環境影響情報

(この項は、輸送中の不慮の事故などにより発生した漏出時の対応について述べるもので、下水道などに排出するための情報ではありません。)

本品の主成分に関するデータに基づいて本品の環境へ及ぼす影響を推測していますが、実際には試していません。以下の特性は、予測に基づいたものです。

予測される有害性:
 魚 LC50: >100mg/L
 ミジンコ EC50: >100mg/L
 海藻 IC50: >100mg/L
 生分解性有機物: なし
 蓄積性: Log Pow<1
 COD(概算): 11g/L
 BOD(概算): 2g/L

13 | 廃棄時の注意

特別管理産業廃棄物には該当しない。

自社で廃水処理設備を所有していない場合には、全量を回収した上で、専門の廃液処理業者に委託して処理する。

廃棄時に該当する法規

廃棄物処理法(廃酸)

水質汚濁防止法 : 生活環境項目

下水道法 : 下水の排除の制限

14 | 輸送上の注意

Air Transportation : _____
 Class : _____
 国連番号(UN Number) : _____
 Proper shipping name : _____
 Subsidiary risk : _____
 Packing group : _____
 Passenger aircraft : _____
 Cargo aircraft only : _____
 Further information : _____

15 | 適用法令

化学物質管理促進法(PRTR法) : エチレンジアミン四酢酸(第一種47号)
 毒物劇物取締法 : _____
 労働安全衛生法 : _____
 消防法危険物分類 : _____

16	その他
----	-----

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、上記の内容は補足の情報と見なし、取り扱いには十分注意して下さい。